

# 金沢大学 特定研究推進プログラム＜認知科学＞

## －認知科学セミナー－

### 「幼児期の数能力の発達と手指の関係」

浅川淳司

(人間科学系/学校教育学類)

#### 概要

はじめまして、4月から池上貴美子先生の後任として金沢大学に着任しました浅川淳司と申します。次回の認知科学セミナーで、自己紹介も兼ねまして、これまで行ってきた研究について紹介させていただきます。

私はこれまで手指の運動的な側面である巧緻性（器用さ）に着目して、幼児における計算能力と手指の巧緻性の関係とその発達について検討してきました。その結果、従来考えられていたよりも就学前の子どもでは計算能力と手指の巧緻性（器用さ）の関係は強く、発達的にも関係していることが示唆されました。これは、数の操作という高次な認知機能も完全に抽象化されているのではなく、手指やその運動が内包されていることを意味していると考えています。当日は、乳幼児の数の能力の発達について概説し、その発達過程の中で手指がどの様に関わるのかについてこれまでの研究を紹介しつつ、整理したいと思います。

**日時：2014年9月30日(火)・18:10～(1時間程度を予定)**

**場所：人間社会1号館1階会議室(旧文学部会議室)**